



# 学校通信 赤坂小だより

令和7年度 卒業記念号 R8.3.18  
北九州市立赤坂小学校  
校長 大成 清徳

## ☆卒業生の皆様へ

### 未来へはばたけ、6年生 になりたい自分を目指して

◎本日、3月18日(水)、第44回の卒業証書授与式が挙行されました。心身共に大きく成長した56名の卒業生は、6年間の思い出を胸に、これまで支えてくれた人たちへの感謝の気持ちをもって、式に臨みました。

新型コロナウイルスが広がる中で入学してきた子どもたちは、これまでとは違う学校生活を余儀なくされた特別な学年でした。その中で、お互いのつながりを深め、力を合わせて困難を乗り越える大切さを身をもって学びました。「史上最高の6年生」を目標に、最上級生としての自覚をもち、学校をリードする役割を進んで担い、たくましく成長していきました。

式当日は、あいにくの雨模様でしたが、坂田敏規 PTA 会長様をはじめ、多くの来賓の方にご参列いただき、6年生の巣立ちを祝って心からの温かい拍手をいただきました。

「別れのことば」の中で、6年間の振り返るとともに、後輩たちへ「今、バトンを渡します」と力強いメッセージを伝えていました。『校歌』と『最後のチャイム』では、感謝の思いを込めて歌声を響かせていました。

最後の学活では、子どもたちから保護者の方への感謝の手紙を渡しました。体育館で行った出立式では、代表児童が感謝の言葉を読み上げ、担任の先生方へ花束を渡しました。それぞれの希望を胸に、未来に向かって羽ばたいてゆきました。

### 卒業生へ贈る言葉 (式辞より抜粋)

みなさんの小学校生活は、これまで経験したことのない混乱の中で始まりました。それは、新型コロナウイルスが世界中に広がり、日本でも緊急事態宣言が出されたさ中でした。入学式もなく、ようやく通学できるようになっても分散登校で、新しい友達と出会う機会ももてませんでした。毎朝の検温、換気に手洗い、友達と仲良くなりたいたいの、距離を取らなければならず、マスクで隠れた顔ではお互いの表情も読み取れません。それまで学校で当り前に行われていたことが当たり前ではなくなりました。きっと、不安でいっぱいだったことでしょう。

それでもみなさんは、今できる精一杯のことをやろうと、先生や友達と力を合わせて、知恵と工夫で新しい学校生活や行事の在り方を見つけ出し、少しずつ学校に笑顔が戻ってきました。

特に、この一年間は、赤坂小学校のキャプテンとして、学校行事を初め、委員会活動やクラブ活動でリーダーシップを発揮して全校児童を引っ張り、立派に役割を果たしました。そんなみなさんの姿を、後輩たちは憧れをもって見ていました。受け継いできた伝統のバトンを後輩たちに託して、胸を張って中学校へ進学しましょう。

ところで、みなさんは「はたらく細胞」という漫画を知っていますか。人の体の中ではたらく赤血球や白血球などの細胞たちが、人間のように自分の役割を果たして私たちの体を守っている姿を描いたもので、アニメや映画にもなった人気作品です。

私たちの体は、三十七兆個もの細胞でできています。細胞には、それぞれに大切な役割があるのですが、すべての細胞がただ一つのことを願って働いています。それは、「生きる」ということです。小さな細胞の一つ一つが懸命に「生きよう」として、総力を挙げて私たちの命を支えているのです。

変化の激しい現代、皆さんの前には、明るく希望に満ちた未来が待っているとは言い切れません。失敗して自信をなくすことや、夢が叶わず落ち込むこと、自分には生きる価値がないのではないかと投げだしそうになることもあるかも知れません。そんな時は、どうか思い出してください。あなたを形作っている小さな細胞の一つ一つが、今この瞬間も「生きよう」としているということ。コロナ禍をくぐりぬけたみなさんです。どんな困難も、周りの人と協力して知恵を出し合えば、乗り越えられることを知っています。この経験は、きっとこれからの未来を生きぬくための糧となるはず。どんなに辛いことがあっても、自分の中にある「生きよう」とする力を信じて、世界でたった一つの命を大切に、一步一步前に進んでください。私とみなさんとの約束です。

# 卒業式 名場面集



未来へ、  
はばたけ!

◎本日、義務教育の第一段階を修了し、6年生は小学校を巣立って、中学校という新たなステージに向かって、笑顔で力強い一歩を踏み出しました。これまで6年間、学校を支えていただき、子どもたちを温かく見守っていただいた地域の皆様、本校保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で、入学以来、多くの辛抱を強いられた6年生ですが、友達と協力して、知恵を絞って困難を乗り越えてきました。その分、たくましく成長したと思います。満足げな表情で卒業証書を受け取った子どもたちに、職員一同、心からのエールを送りながら、旅立ちを見送らせていただきました。今後とも、本校の子どもたちへ変わらぬ愛情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ◇伝統のバトンをつなぐ

### キャプテンマーク引継ぎ式

◎3月17日(火)、卒業式のリハーサルに参加した5年生に、6年生から「キャプテンマーク」の引継ぎを行いました。1年間、名札に入れて「赤坂小を引っ張るキャプテン」としての自覚を胸に取り組んだ思いを、後輩に受け渡しました。託された5年生は、緊張した面持ちの中にも、「自分たちがやるんだ」という決意でキラキラと瞳を輝かせていました。明日から頼もしい最上級生としての活躍に大いに期待したいと思います。

- Challenge**: 挑戦する
- Change**: 変化を恐れない
- Chance**: チャンスを生かす
- Communication**: 意思を伝え合う
- Collaboration**: 協働する

